

(一面より)

続いて今村副委員長から参議院議員選挙対策について、

「(1)サポーター名簿の収集について」現時点までの回収状況は目標達成にほど近い状況である。年が明けて、いよいよ活動が本格化することと思うが、さらなる署名簿の回収をお願いしたい。(2)選挙区の候補予定者の推薦について」各都道府県の選挙区における推薦申請については配布資料のとおりで、日本医師連盟推薦の必要のある候補者がある場合は随時日医連へ申請をお願いしたい」

都道府県の選挙区の推薦については、適宜推薦申請をお願いしたい」とした。



挨拶する 羽生田俊参議院議員

今村副委員長の説明を受けて、横倉委員長から「自見はなごさんはお会いした方が、『素晴らしい方ですね』とお話しをいただくが、名簿が集まらないというところは、実際の後援会活動

続いて羽生田俊参議院議員が国会情勢の報告を行い、平成二十七年補正予算について説明を行い、自見はなご参与の後援会活動へのさらなる協力についても依頼があった。

自見はなご参与決意表明



決意表明を行う 自見はなご参与

自見はなご参与から決意表明が行われた。

「昨年一月の執行委員会の日医連参与に就任させていただいてから、はや一年が経ち、全国の先生方として事務局の皆さまに支えられ活動を行って参ることができましたこと、感謝申し上げます。全国を廻らさせていただいた地域の抱えている事情や課題を、地域の先生方から教えていただき、勉強をさせていただいております。また、全国どこでも保険証があれば医療機関を受診することのできる『国民皆保険制度』、このかけがえない制度は、地域の医師会の先生方の並々ならぬご努力で維持されていること、心を打たれております。

また、徐々に日本でも格差社会が広がってきておりますが、私たち医療従事者の責務としてこの『国民皆保険制度』を守り、育てなくてはならないと日に日にその思いを深くしているところであります。先生方がお支えいた



ガンバロー!!



日本医師会・日本医師連盟合同新年会で挨拶する 谷垣禎一自民党幹事長 (1月19日 日医会館)

いているものは患者さんの命であり、その先の家族、そして社会を私たち医療従事者は支えている、このことを多くの国民の皆さまにしっかりと伝え、理解していただきたい。

私は小児科医ですが、現在子ども子育て支援が叫ばれているなか、政策立案の中心である与党の自民党・公明党には小児科の医師議員は一人もいないのが現状であり、そのことも変えていかなくてはならないと強い決意で臨んでおります。

日頃の診療に加え、医師会活動もされているなか、さらに私の後援会活動へのお力添えをいただきことは大変苦しいお願いではありますが、絶大なご支援をお願い申し上げます。私自身は全力で駆け抜ける覚悟で臨みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます」



自見はなご参与と稲田朋美自民党政務調査会長



溝手顕正自民党参議院議員会長



伊達忠一自民党参議院幹事長

のち、日医連の結束とますますの自見はなご参与の後援会活動の活発化を誓い合い中川俊男副委員長の発声でガンバローが行われ、松原謙二副委員長の閉会の辞で執行委員会は閉会となった。

執行委員会終了後、日本医師会・日本医師連盟合同新年会が開催された。新年会には、自民党の谷垣禎一幹事長、稲田朋美政務調査会長、溝手顕正参議院議員会長、伊達忠一参議院幹事長ら幹部をはじめ、医師の国会議員が来賓として出席し祝辞を述べた。

日医連常任執行委員会



日医連常任執行委員会 (1月19日 日医会館)

一月十九日、日医連は、常任執行委員会を開催し「平成二十六年収支決算」「平成二十八年年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認した。承認された議案はそのうち開催された、日医連執行委員会で審議された。

自見はなこ後援会活動へのご協力を お願いします!

リーフレット、名刺サイズ資料の配布・サポーター名簿へのご協力をお願いします!



リーフレット



サポーター名簿



名刺サイズ討議資料

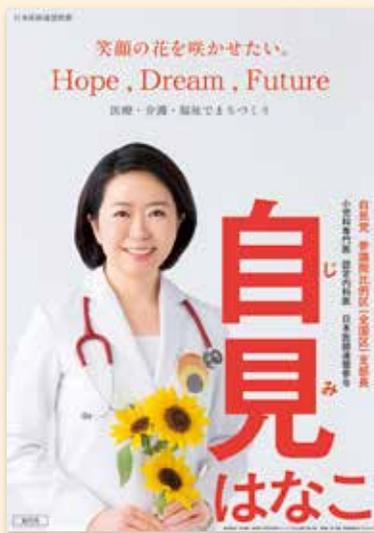
ご家族、医療機関の職員の皆様、患者さんへリーフレットや自見はなこ氏の名刺サイズ討議資料を後援会の討議資料として配付し、自見はなこ氏の政策や今の日本の医療・介護に関する問題について説明し理解していただき、サポーター名簿のご協力をお願いします!

ポスターの掲示をお願いします!

室内用ポスター

医療機関などの室内に掲示してください。

掲示期間 今から～参議院議員選挙期間中(投票日含む)までOK



室外用ポスター

室外への掲示をお願いします。(室内への掲示もOK)

掲示期間 今から～参議院議員選挙の公示日の前日まで。(室内に掲示の場合は室内用ポスターと同じく選挙期間中(投票日含む)もOK)



▲本号(日医連ニュース97号)の付録

リーフレット、名刺サイズ資料、サポーター名簿、ポスターの追加希望がございましたら日本医師連盟(☎iren@po.med.or.jp ☎03-3947-7815)までご連絡頂きます様、お願い申し上げます。

参議院比例代表(全国区)の投票方法の周知をお願いします!

参議院比例区(全国区)の投票は「必ず応援している候補者の名前を書いて投票」の周知をお願いします。
参議院比例区(全国区)は候補者の名前を書いて投票できる選挙です。

1枚目 それぞれの都道府県で

地元の都道府県選挙区の候補者名を



2枚目 全国どこでも

比例代表(全国区)も候補者名を必ずお書きください



※平成13年の参院選から制度が変更になり事前の名簿の順位がなくなり、個人票の得票が多い順に順位が決まります!



自見はなこオフィシャルサイト ▶ <http://www.jimihanako.jp/>



自見はなこFacebookページ ▶ <https://www.facebook.com/hanakojimi>
「いいね!」をしてください! 情報の拡散ができます。



いいね!

二月二十四日、埼玉県さいたま市内で「女性が活躍できる社会づくりフォーラム」(埼玉県医師会・埼玉県小児科医会共催)が約四百五十人の参加者を集め開催された。フォーラムには日医(日医連)から自見はなこ(日医男女共同参画委員会委員(日医連参与)、金港敏日医常任



多くの参加者を前に講演する自見はなこ氏

理事(日医連常任執行委員)が参加した。フォーラムは松山眞記子埼玉県医師会理事の司会で開会し、冒頭、主催者を代表して、金井忠男埼玉県医師会会長から開催の主旨について挨拶が行われたのち、自見はなこ氏が小児科専門医の立場から、「子育て・医療と介護でまじりくりに」と題して講演を行った。講演では小児肥満の改善を通して、そのご両親やご家族の健康状態も改善できたことなど具体的な例を挙げて小児科専門医から見た子育てと医療に関する多岐にわたる意見が述べられた。そののちは、出席者からのアンケートをもとに意見交換を行った。小児科医である金港日医常任理事や、羽鳥雅之埼玉県小児科医会会長も発言し、出席者か



挨拶する金井忠男埼玉県医師会会長



参加者で混み合う受付

らとの質問に答え医師会や小児科医会の考える女性の活躍について多くの出席者の賛同や理解を得ることのできたフォーラムとなった。本フォーラムの参加者の九割は女性で、なおかつ医療従事者以外の方々であり、通常の医師会(医師連盟)活動ではなかなか接することのできない皆さま方に自見はなこ氏の人柄や政策を知っていただくことのできた絶好の機会であり、他の都道府県医師会にも参考となる大変有意義なフォーラムであった。

女性が活躍できる社会づくりフォーラム in 埼玉
自見はなこ氏が講演!
医療従事者以外の皆様とも意見交換!!

日医連活動の記録 (平成28年1月上旬~2月下旬)

- 1・7 (木)
 - * 東京都医師政治連盟医政活動研究会。
- 1・19 (火)
 - * 日医連常任執行委員会・執行委員会の開催。
- 1・25 (月)
 - * 医療政策について梶屋敬悟元厚生労働副大臣(公明党)との意見交換(日本医師会館にて)。
- 1・26 (火)
 - * 寺田稔元内閣府副大臣(自民党)との医政活動に関する意見交換。
- 1・28 (木)
 - * 河村建夫衆議院議院運営委員長(自民党)、林芳正前農林水産大臣(自民党)と

- の医政活動に関する意見交換。
- 1・29 (金)
 - * 医療政策(医療事故調査制度・医師法21条)について保岡興治元法務大臣(自民党)への要請活動。
- 2・1 (月)
 - * 医療政策(医師編在)について赤枝恒雄衆議院厚生労働委員会委員(自民党)への要請活動。
- 2・4 (木)
 - * 医療政策について溝手顕正参議院議員会長(自民党)、山口泰明組織運動本部長(自民党)、末松信介幹事長代理(自民党)、石井正弘参議院決算委員会理事(自民党)、古賀友一郎参議院予算委員会委員(自民党)

- との意見交換(日本医師会館にて)。
- 2・9 (火)
 - * 医療政策(ワクチン問題)について塩崎恭久厚生労働大臣(自民党)への要請活動。
- 2・10 (水)
 - * 医療政策について額賀福志郎元財務大臣(自民党)との意見交換(日本医師会館にて)。
 - * 医療政策(控除対象外消費税問題)について参議院自民党政務調査会への要請活動。
- 2・14 (日)
 - * 三重県医師連盟医政活動研究会。
- 2・17 (水)
 - * 宮沢洋一税制調査会長(自民党)との医政活動に関する意見交換。
- 2・18 (木)
 - * 高村正彦副総裁(自民党)との医政活動に関する意見交換。
- 2・19 (金)
 - * 額賀福志郎元財務大臣(自民党)との医政活動に関する意見交換。
- 2・23 (火)
 - * 武見敬三参議院厚生労働委員会委員(自民党)との医政活動に関する意見交換。
- 2・24 (水)
 - * 野田毅税制調査会最高顧問(自民党)、高鳥修一内閣府副大臣(自民党)との医政活動に関する意見交換。



2月4日(左から) 古賀友一郎自民党参議院予算委員会委員、石井正弘自民党参議院決算委員会理事、横倉義武委員長、溝手顕正自民党参議院議員会長、末松信介自民党幹事長代理(日本医師会館)



2月9日(左から) 小森貴常任執行委員、横倉義武委員長、塩崎恭久厚生労働大臣、高久史磨日本医学学会会長(厚生労働省)

(注) 肩書きは、当時のものを使用。